

水稲の害虫防除

水稲栽培も8月に入りま
すと、出穂期そして登熟期
を迎えます。

今年も、中山間部ではカ
メムシによる被害「斑点米」
(写真1)が予想されます。ま
た昨年は、ウンカによる被害
坪がれ(写真2)も一部地域で
発生しました。

秋の収穫に向けて生育状
況や害虫の発生状況などを
しっかりと把握して**適期防除**
に努めましょう。



写真1



写真2

カメムシ類 防除

【水田管理】

水田内の雑草は、カメ
ムシの本田への侵入を助
長するので、早めに取り
除きましょう。

畦畔や周辺の草刈り
は出穂の2週間前まで
に終わらせ、その後は稲
刈り前まで草刈りは控
えましょう。

【薬剤防除】

出穂後5日〜7日後
ぐらい、穂の頭がたれ始
めたらスタークル(豆つ
ぶ又は粒剤)を**水田全面**
に散布しましょう。発生
が多い場合は**10日〜14**
日後に追加散布します。



斑点米カメムシ類

薬剤名	散布量	使用時期/使用回数	水深
スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫7日前まで/3回以内	3~5cm
スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	3cm程度
トレボン粉剤DL	3~4kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	

※粉剤は残効性が劣る為、必ず2回散布して下さい。

ウンカ類 防除

ウンカ類は6月下旬
から7月に飛来し増殖
していきます。

セジロウンカは8月
上旬、トビロウンカは
9月上旬から中旬に防
除が必要です。

トビロウンカ(秋ウ
ンカ)は水稲の茎葉部を
吸汁します。大量に増
殖した場合には収穫直
前に坪がれに至り、収量
減収等に多大な影響を
及ぼしますので、十分注
意しましょう。



セジロウンカ



トビロウンカ

薬剤名	散布量	使用時期/使用回数	水深
パダンパッサ粒剤(劇物)	3~4kg/10a	収穫30日前まで/5回以内	3cm以上
アプロードパダン粒剤(劇物)	3~4kg/10a	収穫30日前まで/4回以内	3cm程度
スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	3cm程度
トレボン粉剤DL	3~4kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	

※毒物・劇物農薬購入時には印鑑が必要です。

水稲の落水期と収穫適期

米粒は厚いほど食味が良
く、米の厚みは登熟の最後
に決まります。早く落水し
た水田ほど痩せた米になり
ます。稲は穂はらみ期が二番
水が必要とする時期ですの
で、少なくとも出穂後30日
間は土壌を**湿潤状態**に保ち
ましょう。

収穫は青いモミが1割程
度残っている時期が最適です。
狩り遅れは米粒の光沢が悪
くなり、過熟米や胴割れ米
が発生し、品質が低下します。

詳しくは
各購買店舗又は
能勢営農経済センター
までお問い合わせ
下さい。